
2024年度（令和6年4月～令和7年3月）

ソーシャルハウスあごら 事業報告（案）

- 01 年間集計
- 02 2024年の主なプログラム
- 03 利用者さんの主な過ごし方
- 04 主な参加イベント・講義
- 05 相談業務
- 06 公式LINEについて

「あごら」は、長年活動を行ってきた松川から首里儀保町へと拠点を移し、令和6年1月より所長が山城亨から兼濱克弥へ。その後、令和6年5月末をもって前所長の山城が退職。同年6月より、配置人員3名による活動がスタートしました。新しく兼濱が所長となった事により、これまでの利用者に加え、兼濱が以前所長を務めていた地活Ⅰ型事業所の元利用者が集うことも多くなりました。それら場所や人など様々な環境の変化によって、これまで松川にあった「あごら」に来所されていたメンバーさんの中には、来所しづらくなったという方も一定数いらっしゃるようです。しかしまたその逆も然りで、移転したことにより、ゆいレール儀保駅がすぐ近くにあるなどの理由から「アクセスしやすくなった」というメンバーさんの方もいらっしゃいました。

01 | 年間集計



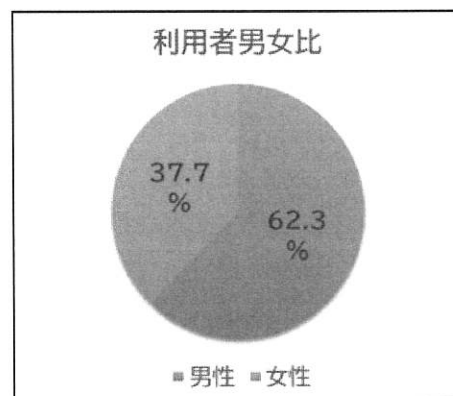
2024年度来所者数

1. 総来所者数 1,637人（前年度比 +233人） 来所者実数 77人

※そのほか、役所や市内の相談支援事業所など関係各所からの案内で見学に来られる方が、月に1～2名ほどいらっしゃいます。

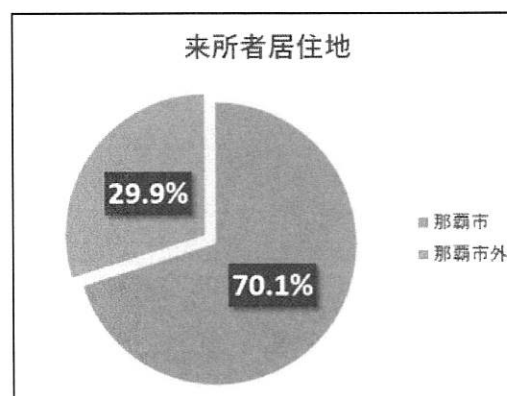
2. 来所者男女比

昨年度あごらを訪れたメンバーさんの男女の割合は右の円グラフを見て分かるように、利用者全体のうち男性利用者の割合が62.3パーセント、女性利用者の割合が37.7パーセントとなっており、男性利用者の来所が多い傾向にありました。



3. 来所者居住地

昨年度、あごらを訪れたメンバーさんのうち、7割が那覇市にお住まいの皆さんで、3割が那覇市外からの来所でした。浦添や宜野湾、豊見城や南風原、一番遠いところだと読谷から来所される方もいらっしゃいます。



02 | 2024年の主なプログラム

1. 隔週月曜 10時～ ラジオ収録（場所：FMぎのわん）



朝10時にあごらへ集合後、車で出発。11時までにはFMぎのわんの収録ブースに入り、収録を行います。ラジオに出演してみたい方、告知・宣伝したい事がある方はいつでもお声がけください。（FMぎのわんの公式YouTubeで過去の放送がご覧になれます）

2. 毎週水曜 あごらレディースDAY（不定期開催） 野球（場所：若狭公園野球場、不定期開催）

あごらに来所される女性メンバー限定で行われる【女子会】を水曜16時～開催しています。普段、男性メンバーの来所が多いあごらですが、この日この時間は女性だけでざっくばらんにゆんたくをお楽しみいただいています。（※お菓子など、持ち込み大歓迎！）



那覇市前島に事業所を構えている依存症回復施設「アルプスセンター」では、毎週水曜13時～那覇市若狭の若狭公園野球場でプログラムとして野球（キャッチボール・紅白試合）を行っており、そこに混ぜていただく形で運動の機会を提供しています。（※希望者がある場合のみ）

3. 毎週木曜 あごら食堂

あごら食堂は、調理～食事～片付けを通して、自宅でも活かせるスキルを得ること、そして皆で協力して料理をし、食卓を囲んで美味しいごはんを食べながら、仲間とお喋りを楽しむことで、コミュニケーション能力を養う機会として開催しています。（※提供しているお食事の数には限りがございます）



4. 毎週金曜 週末カフェ（18時半～20時）

第一金曜日・・・EA（イモーションズ・アノニマス）

※精神と感情の問題からの回復を目的とした12ステッププログラム

第二金曜日・・・でーじチャーころびーカフェ（テーマトーク／ゆんたく会）

第三金曜日・・・あみCafé（県外の団体・個人とZoomでお喋り）

第四金曜日・・・哲学カフェ（暮らしや社会に関わるテーマについての意見交換会）

5. 不定期開催 利用者ミーティング

スタッフと利用者、双方からの報告やお願いに加え、あごらの居場所の空間を、職員にとっても、利用者にとってもより良くしていくための提案・議論が出来る場として、設定しているミーティングです。これまでのミーティングを通して、あごら食堂の価格設定や、トイレの使用ルール、有料ドリンクの提供、電話および来所相談の最大時間設定など様々な話し合いがなされ、それぞれ決定までに至っています。（※決定事項については今後の利用者ミーティングで再検討・再議論することも可）



現状、不定期開催（2024年度は5回開催）となっている利用者ミーティングを今後、定期的に開催できるようにすることを目標としています。

03 | 利用者さんの「あごら」での主な過ごし方

第一位 ゆんたく（スタッフ・利用者同士でお喋り）

第二位 食事（あごら食堂）

第三位 週末カフェ・イベント等参加

第四位 創作活動（ギター・絵・手芸など）



年間を通して、不動の一位は『ゆんたく』。あごらを訪れる多くの方は、スタッフを交えた利用者同士での会話を楽しまれています。病名や症状は違えど、似たような経験、悩みや不安を抱えた仲間と顔を突き合わせ、会話を交わすことが少なからず、それぞれの精神的な安定につながっているのではないかと考えています。次点に食事、そして週末カフェ・イベント参加となっているように、何かしらのプログラムやイベントを楽しまれる方も多くいらっしゃいました。さらにあごらには音楽や絵などの創作に秀でた方々が集う傾向にあります。そういった彼らの作品を公開・披露できる機会を、今後は創出していければと考えています。

03 | 参加イベント・講義等

あごらでは「こころの病気」についての周知活動として、各種イベントや県内の大学や専門学校などの講義に利用者さんを伴い、ゲストスピーカーとして参加・登壇しています。2024年度に参加した主なイベントや講義は以下のとおりです。

01 沖縄県立看護大学の講義にゲストスピーカーとして参加

2024年7月24日



概要

所長の兼濱が以前、宜野湾で地活の所長をしていた時の利用者（※現在はあごらを利用）に、元々あごらを利用しているメンバーを加え、看護・福祉の勉強をしている学生さんたちの前で自身のリカバリーストーリーを話していただきました。生徒からは「心の病気を持った人の話を直接伺うことができ、すごく勉強になった」「もっと話を聞きたいと思った」など、多くの前向きな感想をいただきました。

02 「いしみね地域福祉まつり」IN 沖縄県総合福祉センター

2024年8月7日



概要

新型コロナウイルスの影響や悪天候により中止が続いていた「いしみね地域福祉まつり」が5年ぶりに開催され、法人全体で参加。あごらからは4名の利用者さんが会場でまつりの雰囲気を楽しんでいました。

03 「こころの健康フェスタ」IN イオン那覇

2024年8月23日

第20回こころの健康フェスタ

日時：2024年 8月23日（金）
11：00～20：00

場所：イオン那覇店
うるくスクエア

【出店内容】

- 軽食や飲み物
 - ラスク、クッキーなど
 - 布製品、アクセサリー、手工芸品
 - 木工商品や雑貨などの手作り商品
- * 舞台発表もあります。

概要

那覇地活協主催のこちらのイベントに、この日も法人全体として参加。あごらとしては、イベント舞台上で“心の病気”についてのトークセッションを披露しました。舞台に上がった利用者の1人から『緊張して頭が真っ白になった瞬間もあったけど、こういう機会があればまた参加してみたい』という感想をもらいました。

04 精神障害支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修

2024年10月16日、17日（2日間）



概要

沖縄県精神保健福祉士協会主催のこちらの研修に、ピアスタッフの中村が利用者を伴って参加。ゲストスピーカーとして、それぞれが自身のリカバリーストーリーを含め、「人権と合理的配慮について」という難しいテーマで、それぞれ思うことを発表しました。講演後は、精神保健福祉士の資格をもつ現役の支援者の方々より「すごく素敵な、学びのある話が聞けた」と感謝の言葉をいただきました。

05 北部看護学校の授業にゲストスピーカーとして参加

2024年10月28日



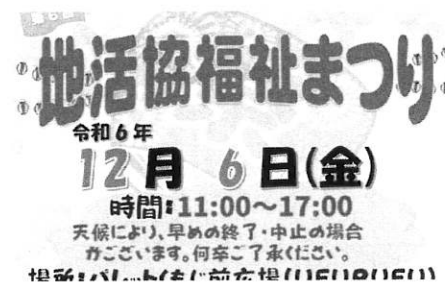
概要

この日は、あごらを閉所とさせていただき、見学の方も含め、スタッフ・利用者総出で名護市為又にある北部看護学校へ。この日登壇した女性メンバーからは「緊張したけど、私の経験が誰かの役に立てたのなら良かった」というお声をいただきましたが、見学参加したメンバーの一人は、講義の様子を見て少し萎縮したようで「とてもじゃないが、僕にはできそうにない」と、次回以降登壇する可能性については少し考えたいと話されました。学生さんからは「以前まで、精神疾患を持っている方々に対して“怖い”という印象があったのだが、イメージが180度がらっと変わった」という感想をいただき、私たちの活動の意義を再確認できた良い機会となりました。



06 第6回「地活協福祉まつり」IN パレット久茂地

2024年12月6日



概要

パレット久茂地前広場で開催されたこちらのイベントに法人全体として参加させていただき、あごらからは見学者・登壇者を含め6人が参加し、舞台上でトークイベントを展開しました。「メンヘラのしゃべり場」と題して、「心を病む前と病んだ後に感じたこと」など、ラジオ形式のトークを通じて、道行く人々に「心の病気」について発信しました。

07 沖縄看護専門学校の授業にゲストスピーカーとして参加

2024年12月9日



概要

この日は午前中にFMぎのわんでのラジオ収録を終えたあと、午後は与那原にある沖縄看護専門学校の授業に参加しました。「地域における精神障がい者」というテーマに基づいて、リカバリーストーリーを生徒たちにお話しました。

08 沖縄大学の講義にゲストスピーカーとして登壇

2025年1月21日



概要

所長の兼濱が非常勤講師を務めている沖縄大学の講義にメンバーさん5名を伴って参加。この日、リカバリーストーリーを聞いた生徒さんの一人が涙を流し、それに気づいたメンバーさんが声をかけて慰めるといった場面もあり、講義は終始和やかな良い雰囲気の中行われました。

09 「つながるステージ」IN 太平通り商店街

2025年3月14日、15日



概要

施設外周知活動の一環として、那覇市の太平通り商店街で行われたイベントに参加しました。そこでは「つながるステージ」として、県内で活躍する演劇集団《TEAM SPOT JUMBLE》のパフォーマーの方々と共に、地域の物語とメンタルヘルスを題材にした演劇を披露させていただき、あごからは、スタッフ・利用者合わせて4名が役者として出演。通りがかった商店街のお客さんを巻き込んで、演劇を通じて観客に「気づき」の体験を提供しました。本番に至るまでの演劇の練習はあごらの共有スペースで行い、今回参加を見送ったメンバーさんらについては、練習の見学を通して心の病気に関する周知活動の多様さを体感してもらうと共に、その意義も時間してもらえたのではないかと思います。

そのほか、年末イベントとして「クリスマス忘年焼肉パーティー」を開催し、プレゼント交換をするなどして盛り上がりました。

04 | 相談業務

電話相談件数	658件
来所相談件数	22件
同行支援	5件



電話相談に比べ、来所相談件数が極端に少ない理由としては、事業所の構造上、プライベート空間の確保が難しいため、来所（対面）相談の際に他の利用者の方々にも相談の内容が聞こえてしまうのではないかと、いうことを危惧されている可能性が考えられるのですが、利用者さんの「あごら」における活動内容の一位が『ゆんたく（お喋り）』とあるように、来所される利用者さんは、利用者同士あるいはスタッフなど多人数での会話を通して、自然と互いに悩みを打ち明けあったり、それに答えたりを重ねているうちに、抱えていた不安や孤独感などが小さく、あるいは解消されている節が見受けられますので、それが電話相談件数と来所相談件数の差に大きく表れているように感じています。

05 | 公式LINEについて

これまで、あごら並びに法人の様々なお知らせ等については、来所された利用者さんに限り口頭でお伝えしておりましたが、例え来所されずとも、いつ、どこにいても案内が受け取れ、確認が出来るよう【ソーシャルハウスあごら】として公式LINEアカウントを取得いたしました。

今後は開所・閉所時間の突然の変更や、イベント参加等のご案内については、口頭だけでなくLINEメッセージでもご確認いただけます。あごらの活動にご興味のある方は、画像のQRコードをスキャン→して、お友達追加されてください。

